



現代に続く町並みの基礎、越前大野城

越前大野城縁起
 越前大野城は金森長近（かなもりながちか）によって築されました。
 長近は、織田信長に仕えた部将で、赤母衣衆（あかほろしゅ）と呼ばれる直属の部隊の一員で武名高く、後に柴田勝家の目付を務めたとも言われる人物です。部将としてだけでなく、千利休や古田織部に師事し、茶道に通じた文化人としても高名な一面もあつたそうです。ちなみに奥さんは斉藤道三のむすめで、信長とは相婿ごうしであつたと

いわれています。
 さて、築城に至る経緯ですが、天守台近くの石碑による

と、長近は一向衆との戦いで武功をあげ、信長より大野郡の三分の二の領地を拝領しま



※「てくてくレポート」は今月で終了します。



キャラクターデザイン
坂本裕子さん（富塚）

てくてく レポート

®

～リポーターが
お伺いします～

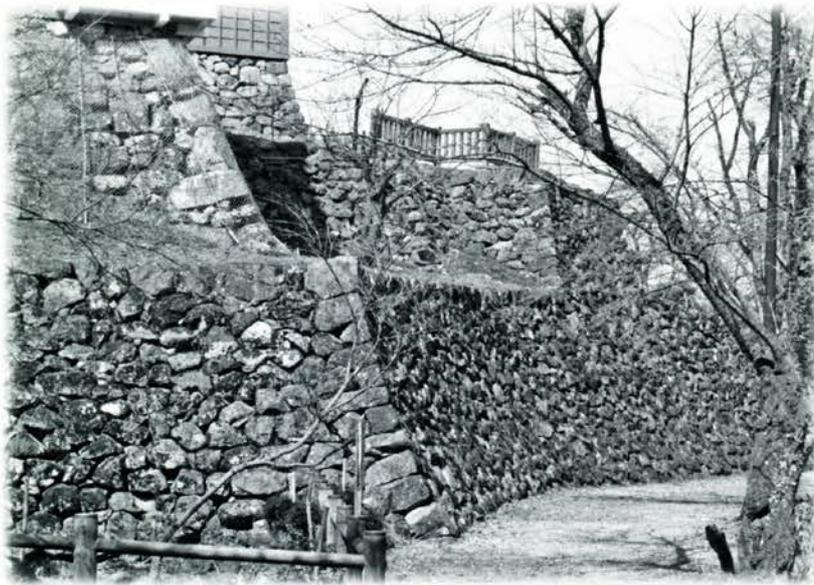


リポーター

西村 祥一さん

(26歳 清瀧)

福井市から大野市への帰路。トンネルを抜けると、眼前に大野城を中心とした光景が目に入ってくる。僕はこの光景が、なんだかほっとする感じがあつてとても好きなのです。亀山は僕にとって小さい頃よく遊んだ場所として馴染み深い場所なのですが、改めて亀山、大野城を訪れてみることにしました。



した。当初、亀山の西にあった成山城に入るも、新たに亀山の地に平山城の形式で大野城を築城したとあります。ここに、現代に続く大野の街並みの基礎が出来上がったのです。

どんな城なのか？

城と言うと天守閣などの建物のイメージがありますが、それは正しくないようです。

正確には堀や石垣などの構造物で閉鎖された区画の事を城と呼ぶのです。

これを大野城に当てはめてみると、亀山丘陵の本丸を中心として、東側の麓に二の丸、三の丸（現在の柳廼社、めいりんの辺り）を展開した亀山全体が城であるといえる事がわかります。

天守がある天守台に立った僕は、一帯を眺めながら当時の大野城

の大野城や、大野の町はいったいどんな光景だったのだろうか？と想像を膨らませてみることにしました。改めて大野城の周りを見てみると、地形を上手く利用した城である

ことがわかります。亀山の西側（福井方面）は急斜面であり、近くには赤根川が流れています。これは天然の堀と言えます。現在の堀跡からも亀山を囲むように堀を配置し、防衛を固めていることがわかります。

また石碑を読んでいて、長近が地形に加えさらなる工夫を重ねている事に気付きました。それは、今現在、僕達が暮らしている大野の町について

長近は大野城築城の際、城下町を基盤の目的のように整備しています。この町割りは非常に考えられたもので、内山家のように亀山の麓に侍屋敷を置き、町人町、寺町といったように何層にもわたる構造で、扇型に広がっています。この時代、お寺は合戦になった場合は皆として利用される事がありました。これにより、有事の際には町全体が大きな防衛帯になっていて、特に東方に堅固な守りをもつ仕組みになっているのです。

取材後記

後の時代には、大野丸で海に繰り出して商いを。また、砲術を学び鉄砲を製造し近代装備で一名を馳せた大野藩。

明治維新後、城はその役割を終え、全国的に取り壊されたり、公園になったりしました。その中で、大野城は昭和四十三年萩原貞氏の寄付により再建されました。

今もこうやって、歴史的にも貴重な資料となる野面積み（のづらづみ）の石垣や、移築された門が残っているのは非常に価値のある事です。

江戸期には全国に二百七十あまりの藩があり、その中で城持ちの大名が治めたのは百六十ほど。現在、全国四十七都道府県の県庁所在地のうち、近世城下町ではないのは十一カ所だけなのだそうです。この点をとってみても、昔から城下町は各地域の中心であり、その歴史は連綿と受け継がれてきた事がわかりますね。

僕は今回、この大野城が、観光地としてだけでなく、歴史の面から地域の魅力の一端を、今なお現し続けているのではないだろうか、と感じました。



地区民と積極交流も

市民のページ



あなたも紙面に参加しませんか。希望する方は
情報広報課まで ☎0779・66・1111

市内の中でも多くの自然が残る五箇地区。その五箇を拠点に自然散策や動植物の観察、自然をテーマにした学習会などに取り組むのが「五箇自然の会」です。現在、三十歳代から七十歳代の約三十人が所属しています。四月から新たに会員が増えたとのこと。

もともと五箇公民館主催の文化講座「五箇の自然講座」の受講生が、講座終了後も引き続き活動していきたいと、平成十七年三月に結成しました。メンバー全員が、自然をこよなく愛しています。

昨年七月には、平家平の散策に出掛け、樹齢四百年以上の大トチノキをはじめ、ミズバショウやササユリなどの自然を堪能しました。クロモジなどの硬い葉を使って草笛に挑戦する人もいたそうです。

参加者の一人は「平家平には以前から行ってみたいと思っ

ていました。とても自然が感じられ、散策しやすかった。参加してよかったです」と話してくれました。

出掛けた際に見つけた植物は必ず写真を撮り、図鑑などで調べて互いに情報交換するなど、知識を深めています。

また、五箇地区で毎年秋に開催される「食と手作りのつどい」などの行事に、ボランティアとして参加しながら、地区住民との交流も積極的に行っています。

「大野で生まれ、その後はずっと京都に住んでいましたが、定年を機に帰ってきました。自然がもともと好きですが、特にこの五箇は、自然も人も優れていると思います。大野らしい良い所だと思っので、ずっとこのまま残っていて欲しいですね」と話してくれました。

【広告欄】

あっ宝んど
5月選替りメニュー*パスタ* 各600円

- 1選目 彩りクリームパスタ
- 2選目 シーチキントマトパスタ
- 3選目 めんたいパスタ
- 4選目 冷製サラダ風パスタ

あったかデー(6・16・26日)
好評 飲食割引券配布
* 団体様の食事ご予約承ります
* ご予算に応じてご相談下さい
電話0779(66)7900

水まわりの安心
下水道接続も

伏見屋設備

TEL 66-3412
陽明町二丁目807
<http://www.fusimiya.jp>

ヤマハ音楽教室 大人の教室 好評開講中!
YAMAHA

はじまるよ!!
はじめよう!!

まだまにあうよ!
ヤマハ音楽教室
5月開講です!

お問い合わせは
あしはら楽器
65-6888



佐藤 順子さん (土打・29歳)

佐藤さんは、七間朝市に出荷する人で構成する「越前大野七間朝市出荷組合」の最年少組合員として、珍しい野菜を数多く出荷しています。もともと会社員をしていた佐藤さんが農業に従事するようになったきっかけなどを聞きました。

—なぜ農業を選んだのですか

勤めていた会社を2年前に退職し、次の就職先を探すことに疑問を感じていました。その時、実家が農業で跡継ぎもなく、幼いころからその手伝いをしていたこともあり、引き継ごうと思いました。

—どんな野菜を作っているのですか

2000平方メートルほどの畑で、生で食べられるカボチャの一種のコリンキー、ズッキーニなどを栽培しています。特産のサトイモや野菜などを合わせると、30から40品目作りましたね。中には実がならなかったものもありますが、種類が豊富で色合いが鮮やかなので、朝市に来るお客さんが珍しがって寄ってきます。中には、商品は買わずに、調理方法だけ聞いて



いく人もいます。

—朝市について感じていることは

出荷してみて気づいたのですが、野菜ごとの旬を感じられることが最大の魅力だと思います。あと、その野菜に合った調理方法などを聞くことができるので、ぜひ足を運んでほしいですね。課題としては、大みそかまで市が開いていることを知らない人が多く、出店者数や出荷する品目も少なくなることです。夏と冬で野菜の種類や量が大きく変わってしまうので、バランスを考えた栽培方法を勉強しています。

—今後の意気込みを教えてください

5月末までは、自宅の畑で野菜の育苗を行っているので、朝市への出店は6月からの予定です。朝市で売る野菜には、栄養価や効能、調理例などの表示を行ったり、お惣菜などの加工品を置いて試食コーナーを作ったりしていきたいですね。朝市で販売する野菜は、ホームページやブログを活用して情報提供していきたいと思っています。

最年少で朝市に出店
「旬求め、足運んでほしい」



珍しい野菜を朝市に出荷

一口メモ「大野町明治の大火」

1888 (明治21) 年4月8日に横町 (日吉町) から出火した火災は、全焼が1113戸、死者3人に上る大災害となりました。

その後、1899 (明治32) 年にも大火があり、当時の大野町では、防火の対策として六間通りや石灯笼通りを広げるなどしました。

【広告欄】

広告募集中

(1カ月1枠1万円)

問い合わせ先
情報広報課広報広聴係
(☎66・1111内線441)

電気・計装設備工事

せんしんでんせつ
有限会社 泉新電設

〒912-0021 大野市中野 46-29

TEL (0779) 66-5203

E-mail: senden@sea.plala.or.jp



七間朝市再開 はっこつ 醜酵まつりも

3月20日、七間朝市が再開し、新鮮な野菜や花などを買い求める姿が見られました。また、大野商工会議所などによる「奥越前醜酵まつり」が同日、平成大野屋を会場に開かれ、奥越産醜酵食の食べ比べには長蛇の列ができていました。



麻那姫像日差しに輝く

下若生子地係に設置されている麻那姫像の雪囲い外しが3月28日に行われました。この像は、干ばつから村人を救おうと、自ら真名川へ身を投じたとされる麻那姫の伝説を後世に伝えようと、平成4年に建立されました。



ソフトバレーで交流

みんスポクラブによる市民との合同レクリエーションが3月15日、学びの里「めいりん」で開かれました。子どもからお年寄りまで約200人が参加し、ソフトバレーボールを通して交流を深めました。



話題のひろば



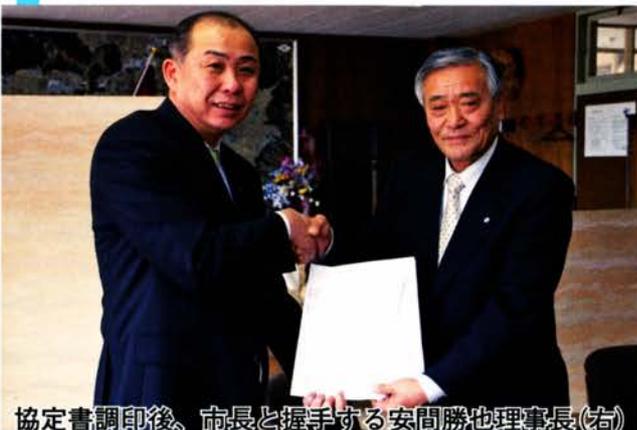
イトヨ観察でわかった!

イトヨ観察会が3月22日に本願清水イトヨの里で開催されました。市内の小学生ら42人が参加。参加した児童は観察やクイズなどを通してイトヨや本願清水についての理解を深めました。



災害時の協力協定結ぶ

市と大野鉄工金属協同組合は3月27日、「災害時における協力に関する協定」を締結しました。避難施設の応急危険度判定など、市からの要請に応じて、優先的に協力を行うこととなっています。



協定書調印後、市長と握手する安間勝也理事長(右)

メタボ改善学ぶ

メタボリックシンドロームを改善するための講座「メタボ撃退! スッキリ講座」が3月23日に有終会館で開かれました。基調講演では講師の井上正子さんが、腹囲を減少させるために、食事内容のチェックやアドバイスが必要と訴えていました。



災害ボランティア講演会

3月23日、災害ボランティア講演会が学びの里「めいりん」で開催されました。JPCOM代表の桑原英文さんを講師に講演会が行われたほか、災害ボランティア活動の写真パネル展や能登半島地震での民生委員の活動を振り返ったビデオ上映がされました。



シンポでまちづくり語る

越前おおの中心市街地活性化協議会によるまちづくりシンポジウムが3月29日、有終会館で開かれました。市民約80人が参加。少子高齢化時代が到来する中、暮らしやすいコンパクトなまちづくりの必要性について、講演やパネルディスカッションが行われました。



笑顔！で「いただきます」⑭

じゃがいものそぼろ煮



材料 (一人分)

※分量は給食献立に基づき表示

- ・豚ひき肉10g
- ・鶏ひき肉10g
- ・ジャガイモ60g
- ・ニンジン15g
- ・たけのこ20g
- ・厚あげ30g
- ・グリーンピース5g
- ・油1g
- ・砂糖2g
- ・酒1cc
- ・しょうゆ5cc
- ・水40cc
- ・かたくり粉1g
- ・塩少々

調味料 (A)

子どもたちの健康を支えている給食献立。今月は「じゃがいものそぼろ煮」です。

給食から一品



作ってみよう

【まず】

ニンジン、たけのこは粗いみじん切りに、ジャガイモは一口大に切る。

- ①豚ひき肉と鶏ひき肉を油でいため、塩をふる。
- ②①にジャガイモとニンジン、たけのこを加え、軽くいためる。その後、厚あげを入れ、調味料(A)と水を加えて煮込む。
- ③煮上がったら、水でといておいたかたくり粉を加えてとろみをつけ、グリーンピースを入れる。

達人のワンポイントアドバイス

鶏と豚のひき肉を使うことで肉の油っこさがありません。厚あげは鉄分を摂取することができるので、ぜひ入れてみてください。かたくり粉はだまにならないよう注意を。グリーンピースは仕上がりに入ると色合いがきれいです。(学校調理師 三嶋美登里さん)



市民のうごき

平成20年4月1日現在

世帯数	12,227世帯 (-21世帯)
人口	38,535人 (-174人)
〈男〉	18,381人 (-83人)
〈女〉	20,154人 (-91人)

◆3月中の内訳

転入	95人	出生	21人
転出	236人	死亡	54人



(松森・小島) りたいと思っ
ています。取
材でお会いし
た際にはどう
ぞよろしくお
願いします。

編集後記

四月の人事異動で二人が入り替わり、新たに市の広報を担当することになりました。写真の撮影や原稿の作成は初めてで、戸惑うばかりの日々が続いています。一日も早く、皆さんに親しまれる分かりやすい広報紙を作ることができるよう頑張ります。大野の自然の美しさや人のすばらしさなどを一つでも多くお伝えするため、市内を駆け回りたいたいと思っ



世界に名高いパリのループル美術館。足を運んで驚いた。外観の造形美や有名美術品の収蔵量は言うに及ばず。あの大作「ミロのビーナス」像が何の防備もなくむき出しのままフロアにドンと据えられている。これには舌を巻いた。日本ならまずありえない▼だが、しばらく観覧して納得。入場者のマナーや芸術鑑賞に対する意識レベルが非常に高い。手を触れることも過度な撮影もなく真摯に作品と向き合う。それが小さな子どもにも周知徹底されている。このことが美術館のグレードをさらにアップさせているとも。また、美術を志す若者らのデッサンの場として館を開放している点も魅力だ▼ループルはもともとフランスの旧王宮。フランソワ一世の命で改築が始まり、一七九二年以来国立美術館として主要部分を使用している。芸術に対する歴史や文化が古くから根付いている背景がある▼一方のわが国。美術館はまだしも、博物館や公共の施設などでは客のマナーやモラルの低下を嘆く声。どんなに規制しても撮影や飲食、ゴミに関する違反行為が後を絶たないとか▼今月は本市でも山開きや名水マラソンなど行事が満載。先客万来！大野ええとこを存分にアピールし、もてなしの心で迎えれば、マナーやモラルの向上にも(羽生)

発行 福井県大野市

編集 情報広報課 広報広聴係 (☎0779・66・1111)



R100

この広報紙は、古紙配合率100%の再生紙と環境に優しい大豆油インキを使用しています。